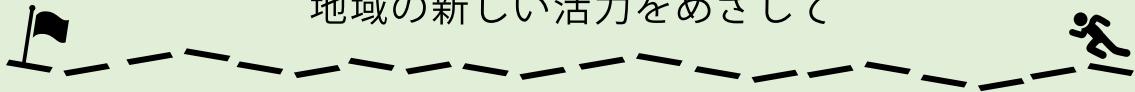


地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこのコーナー。

今回は総務省の特例措置により任期を延長した、岩本脩成隊員と本武郁也隊員の活動を紹介します。

◎ 地域おこし協力隊の任期延長とは？

地域おこし協力隊の任期は最長3年です。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、地域協力活動に大きな制約を受け、任期中に十分な活動ができなかつた隊員に対し、総務省が任期延長の特例措置を講じました。隊員本人が希望し、かつ受入自治体が必要と認めた場合のみ、2年を上限に任期の延長が可能となりました。

2022年3月に協力隊を卒業予定だった岩本

隊員と本武隊員は、この特例措置を利用して、任期を延長することになりました。



染症の影響で、県内外のPR・販売イベントのほとんどがキャンセル。試食も行えず、まだ一般には知られていない青パパイアの味を言葉だけで伝えるのは困難でした。ドレッシングなど青パパイアの商品の開発、「パパイア王子」の愛称でテレビ等への出演など、できる範囲でのPRに取り組みましたが、知名度は十分ではありません。引き続き、青パパイアの認

知向上やより魅力的な商品開発を行う予定です。

① 青パパイア知名度拡大へ 岩本隊員の取り組み

岩本隊員は、「栄養豊富な青パパイアを食べてみんなに健康を届けたい」と、青パパイアの栽培や商品開発に取り組んできました。

任期中は青パパイアの知名度と消費量拡大のため活動し、新富町での産地化を目指す予定でした。

しかし、新型コロナウイルス感

② ジムとイベントの運営 本武隊員の取り組み



本武隊員は着任当初、町内での

ワインバー開業を目指しており、ワインとメキシカン料理の店「ナナブンノニ」を他の協力隊と共に試験営業を始めました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で試験営業は困難と判断し断念。そこで、もともと体を鍛えることが好きだった本武隊員は、少人数で運動できるプライベートジムの開設へ活動を移しました。ジムの試験営業期間中は、トレーナー資格の取得、会員の獲得と定着を行う予定でした。しかし、県外の講習が受講できずに資

格取得が予定よりも遅れたり、県内感染者の急増によりジム会員の休会・退会が相次ぎ、十分地域に根付いているとは言えません。4月からは営業場所をるびもーる商店街に移し、心機一転、活動を行っています。



事業化を目指す両隊員ですが、まだ至らぬ点も多いかと思います。青パパイア商品やジムを利用された際は、ぜひご意見・ご感想をお寄せいただけますと、両隊員の励みになります。